サイエンスカフェの概要について（事後報告）

１．開催日時：令和８年９月 19 日（土）14:00～16:00

２．開催場所：大阪公立大学森ノ宮キャンパス　スカイラウンジ

３．関係団体等：大阪公立大学

４．役割

司会	伊藤岳	大阪公立大学経済学部准教授
挨拶	鈴木基史	日本学術会議会員　京都大学名誉教授
講演	石田早帆子	早稲田大学現代政治経済学研究所特別研究員 「人道危機のデータ科学」
	柏原晴希	早稲田大学平和科学研究員 「表情で科学する国際政治」

５．概要：

ビッグデータや AI という最新のデータサイエンスの技術は社会科学の様々な分野に取り入れられ、研究の精度の向上に重要な役割を演じています。こうした学問的取組は、公的機関や企業などが実施する「証拠をもとにした政策決定」（ＥＢＰＭ：Evidence-based Policy Making）を支援し、政策立案や実施の向上に貢献することも期待されています。今回のサイエンスカフェは、高校生・大学生・大学院生を対象に開催し、データサイエンスの技術を活用することで国際政治の謎を解明し、平和の実現に寄与する方法について、２名の若手研究者を招聘し、デモンストレーションを交えた講演を通じて、研究の面白さや社会実装を参加者に実感してもらいました。お二人の講演内容は、目的に即しつつ学術的に高度なもので、主催者・参加者の期待に沿うものでした。

６．参加人数

（講演者等）４名

（その他の参加者）１０名

７．特記事項：

参加者の中には、講演者の分析手法に関して知見のある方が数名おられ、講演内容について的確な質問・意見を述べられ、講演者もうまく対応していたと感じられました。